



一般社団法人日本遠隔医療学会

平成 26 年度第 1 回定時社員総会 議案書

第 1 号議案	平成 25 年度(第 3 期) 事業報告
第 2 号議案	平成 25 年度(第 3 期) 決算報告
第 3 号議案	平成 26 年度(第 4 期) 事業計画
第 4 号議案	平成 27 年度(第 4 期) 予算

日時 平成 26 年 6 月 28 日 (土) 13 : 00 ~ 14 : 00
場所 〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-9
御茶ノ水ホテルジュラク 白鳥の間
電話 : 03-3251-7222 FAX : 03-3251-7447

*** 6 月 28 日時間割 ***

12 : 00 ~ 16 : 00	受付
13 : 00 ~ 14 : 00	理事懇談会
14 : 00 ~ 15 : 00	総会
15 : 00 ~ 17 : 00	運営委員会
17 : 15 ~ 19 : 15	懇親会 (会費 2,000 円)

第1号議案 平成25年度(第3期)事業報告

I 学術活動

1. 日本遠隔医療学会雑誌の発行

以下のごとく、平成25年度は2冊の日本遠隔医療学会雑誌第9巻を発行した。

日本遠隔医療学会雑誌 第9巻1号 平成25年5月 450部

日本遠隔医療学会雑誌 第9巻2号 平成25年9月 600部

なお、編集委員会の名簿は以下のとおり。

委員長	石塚 達夫	岐阜大学 (現在は、岐阜市立病院)
委員	新井 桃子	NPO法人 medical-e.net
	酒巻 哲夫	群馬大学 (現在は、高崎市医師会看護専門学校)
	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学
	長谷川 高志	群馬大学
	森田 浩之	岐阜大学

2. 平成25年度日本遠隔医療学会学術大会 JTTA2013 の開催

以下のごとく、平成25年度日本遠隔医療学会学術大会を開催した。なお、本大会は18th ISfTeH International Conference (第18回国際遠隔医療学会) と同時に開催した。

- 1) 会期 平成25年(2013年)10月18日(金)～10月19日(土)
- 2) 会場 サンポートホール高松・かがわ国際会議場、eトピアBBスクエア
香川県高松市サンポート2-1 TEL 087-825-5000 【(財)高松市文化芸術財団】

3) 開催の体制

大会長 原 量宏 (日本遠隔医療学会長、香川大学瀬戸内圏研究センター特任教授
徳島文理大学保健福祉学部臨床工学科教授)

実行委員会

実行委員長	横井 英人 (香川大学)
副委員長	長谷川 高志 (群馬大学)
実行委員	新井 桃子(NPO法人 medical-e.net)
	東福寺 幾夫 (高崎健康福祉大学)
	森田 浩之 (岐阜大学)
	岡田 宏基 (香川大学)
	徳田 雅明 (香川大学)

事務局 香川大学瀬戸内圏研究センター

事務局長 松岡 實夫

4) プログラム概要

テーマ 「遠隔医療による国際協力と、日本版 HER の確立を目指して」
企画セッション等

(1) 合同基調講演

- ・ Steven Normandin : 国際遠隔医療学会副会長
- ・ 原 量宏 : 日本遠隔医療学会会長
- ・ 田中 博 : 東京医科歯科大学
- ・ 清元秀泰 : 東北大学
- ・ Dr.Mark Bratt : Intel Corp.

(2) シンポジウム

- ・ 循環器疾患の遠隔医療 (日本循環器学会共同セッション)

(3) 特別講演

- ・ 泰川 恵吾 : 医療法人鳥伝白川会
- ・ 板生 清 : NPO法人ウェアラブル環境情報ネット推進機構
- ・ 中安 一幸 : 厚生労働省

一般演題・分科会 (登録数 37 演題)

- ・ 見守り分科会 (1 題)
- ・ 在宅医療分科会 (2 題)
- ・ 病院情報システムの発展 (2 題)
- ・ 新しい技術の活用 (4 題)
- ・ 見守りとモニタリング (5 題)
- ・ 地域医療連携② (4 題)
- ・ 厚生労働科学研究 報告会 (3 題)
- ・ 地域医療連携① (3 題)
- ・ 在宅医療支援と評価 (6 題)
- ・ インフルエンザの監視 (3 題)
- ・ 周産期医療と ICT (4 題)

市民公開講座

- ・ 田中 博 : 東京医科歯科大学
- ・ 井下 秀樹 : 香川県

5) 参加者数

学会員	121 名
非会員	142 名
学生	17 名
招待者	23 名
外国人	70 名
合計	373 名 (運営スタッフ及び展示企業スタッフを除く)

6) 企業展示

展示会場	サンポートホール 61 会議室、小ホールロビー (ホワイエ)
展示期間	10 月 18 日 (金) 9 : 00 ~ 17 : 00 10 月 19 日 (土) 9 : 00 ~ 15 : 00
展示小間数	22 小間
ホスピタルルーム	62・63・64 会議室

7) ランチョンセミナー

サンポートホール第2小ホールにて、10月18日(金)12:30~13:30および19日(土)12:00~13:00 に実施。

8) 優秀論文表彰

以下の2論文を優秀論文として表彰した。

(1) 郡 隆之 (利根中央病院)

「訪問診療における遠隔診療の事象発生、移動時間、QOLに関する症例比較多施設前向き研究」

(2) 小笠原 敏浩 (岩手県立大船渡病院)

「周産期部門電子カルテと岩手県周産期医療情報システム
” いーはとーぶ” 連携の実現に向けての取り組み」

9) 決算概要

(注) 決算は、国際学会及び国内学会を合算しています。

(1) 収入の部

会費及び懇親会収入	4,039,000 円)
協賛企業出展等収入	9,047,500 円
寄付金及び助成金	3,230,000 円
学術大会準備金 (本部会計より)	300,000 円
その他	387,367 円
合計	17,003,867 円

(2) 支出の部

会場借上及び設営費	5,649,786 円
会議費 (懇親会を含む)	2,066,840 円
印刷費	1,341,795 円
国際学会事務局運営費	1,694,993 円
国内大会事務局運営費	5,095,879 円
編集委員会経費	824,250 円
本部会計へ戻し入れ	330,324 円
合計	17,003,867 円

3. 18th ISfTeH International Conference (第18回国際遠隔医療学会) の開催

1) 期日および会場

期日 2013年10月17日(木)~19日(土)

会場 サンポートホール高松・かがわ国際会議場、e-トピア BB スクエア
香川県高松市サンポート 2-1

TEL 087-825-5000 【(財)高松市文化芸術財団】

2) 実行組織

大会長 原 量宏 (香川大学・徳島文理大学)

実行委員長 東福寺 幾夫 (高崎健康福祉大学)

実行委員 (五十音順)

児玉 直樹 (高崎健康福祉大学)

三瓶 宏一 (NPO 法人インド福祉村協会)

十蔵寺 寛 (東海大学)
 土橋 康成 (財団法人ルイ・パストゥール医学研究センター)
 中島 直樹 (九州大学)
 長谷川 高志 (群馬大学)
 Frank Lievens (ISfTeH)
 三浦 秀史 (禁煙マラソン)
 横井 英人 (香川大学)

事務局 一般社団法人日本遠隔医療学会事務局
 〒370-0033 群馬県高崎市中大類町 37-1
 高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科内
 TEL/FAX 027-350-7475
 Email jtta@takasaki-u.ac.jp

ホームページ <http://j-telemed-s.jp/isfteh18/>

3) プログラム及び演題

テーマ The Construction of an International Collaboration with Telemedicine

プログラム概要

10月17日(木)	Welcome Reception	
10月18日(金)	合同開会式	
	合同基調講演	5 演題
	国際シンポジウム	2セッション 8 演題
	一般演題	6セッション 24 演題
	合同懇親会	
10月19日(土)	国際基調講演	2 演題
	国際シンポジウム	2セッション 8 演題
	一般演題	9セッション 36 演題
	合同閉会式	
演題総数	基調講演等企画演題	7 演題
	国際シンポジウム	4セッション 16 演題
	一般演題	60 演題

4) 参加者

有償参加者 (参加費は国内学会と同額)

会員	事前登録 (10,000 円)	32 人
	当日参加 (12,000 円)	1 人
非会員	事前登録 (12,000 円)	26 人
	当日参加 (14,000 円)	5 人
学生	事前・当日 (3,000 円)	10 人
招待演者		4 人
招待聴講者 (ASEAN 諸国関係者)		30 人

ISfTeH 理事	4 人
参加国数	演題登録 25 カ国
	事前参加登録 27 カ国

5) 優秀演題表彰

以下の 4 部門で計 14 演題を表彰した。

- (1) Excellent Abstract Award
- (2) International Collaboration Award
- (3) Social System Innovation Award
- (4) Technology for the Future Telemedicine Award

The 18th ISfTeH International Conference in Japan Award Winners

Award	Session No.	Seq.	First Author	Abstract title	Organization	Country
Excellent Abstract Award	IGS-124	2	Diego Alejandro Parra Álvarez	Health applications in mobile devices	Nueva Granada Military University	Colombia
	IGS-211	2	Dr. Tomoko Kamei	Development and Implementation of Evidence-based Guidelines for Telenursing Practice for Patients with Chronic Obstructive Pulmonary Disease in a	St. Luke's College of Nursing	Japan
International Collaboration Award	IGS-112	6	Yhuko Ogata	The Medical ICT Utilization for Perinatal Telemedicine in Remote Areas	Mitla Co.	Japan
	IGS-121	4	Dr. Shuji Shimizu	International collaborations on remote medical education in Asia and beyond: 10-year experience	Telemedicine Development Center of Asia, Kyushu University	Japan
	IGS-222	2	Maurice Mars	An International Telemedicine Curriculum?	Dept of TeleHealth, University of KwaZulu-	South Africa
	IGS-231	5	Rolandas Bėrontas	Patient empowerment using telemonitoring and self-monitoring in the multilingual patient health portal	Vilnius University Hospital Santariskiu	Lithuania
Social System Innovation Award	IGS-112	6	Yhuko Ogata	The Medical ICT Utilization for Perinatal Telemedicine in Remote Areas	Mitla Co.	Japan
	IGS-124	3	Dr. Cirano Iochpe	Integrating mHealth Into A Chronic Disease Management Program For Elder Patients With Diabetes in Brazil	Institute of Informatics at Universidade Federal do Rio Grande do Sul	Brazil
	IGS-124	4	Partha Pratim Ghosh	Effectiveness of Preventive Healthcare through Telemedicine in Bangladesh	Grameen Communications	Bangladesh
	IGS-212	1	Dr. Tiantian Ye	A Cost effective e-Network for DR and glaucoma screening in rural Guangdong, China	Zhongshan Ophthalmic Center, Sun Yat-sen University	China
	IGS-232	4	Prof. Masaaki Tokuda	Tele-consultation service for Japanese long-stayers in Chiang Mai, Thailand	Faculty of Medicine, Kagawa University	Japan
Technology for the Future Telemedicine Award	IGS-213	1	Lina Barzdaite	Clinical Decision Support System – National project of Lithuania – designed for Telemedicine and other	Vilnius University Hospital Santariskiu	Lithuania
	IGS-214	4	Minkyu Kim	Development of New Electrocardiogram Reconstruction Method Using State Space Model	Myongji University	Republic of Korea
	IGS-231	2	YounTae KIM	A respiration measurement system for sleep apnea syndrome monitoring using an accelerometer	Myongji University	Republic of Korea

6) Proceedings

ISBN コード	978-4-9902247-4-5 C3047
発行部数	500 部発行

4. 平成 24 年度 Spring Conference 2013 の開催

以下のごとく、平成 25 年度日本遠隔医療学会 Spring Conference を開催した。

会場 東京都文京区 全国家電会館

会期 平成 25 年 2 月 15 日 (金)、16 日 (土)

プログラム概要

第 1 日 会長講演

特別企画 (1) 遠隔医療における看護職の役割

株式会社 DPP ヘルスパートナーズ・ランチョンセミナー

厚労科研報告会 (1)

	特別企画 (2) 標準化および産業界から見た遠隔医療
第2日	厚労科研報告 (2)
	見守り分科会・JST 事業報告
	一般演題 (1) 5 演題
	一般演題 (2) 6 演題
来場者数	85 名
発表演題数	企画演題 8 題、一般演題 11 題

5. 第33回医療情報学連合大会における共同企画

以下のごとく、第33回医療情報学連合大会における共同企画を開催した。

パネルディスカッション セッション番号 2-A-3 (共同企画 8)

日時 11月22日 16:00-17:30

場所 神戸市 六甲アイランド 神戸ファッションマート

タイトル 「遠隔医療の普及手段を考えるー現場医療者への遠隔医療スキルの育成ー」

遠隔医療の推進、僻地や自宅医療、災害復興への展望

座長 本多正幸 (長崎大学)、酒巻哲夫 (群馬大学)

6. 普及委員会

遠隔医療にかかわる情報発信を強化するため、「図説日本の遠隔医療」を編集し、ホームページに掲載した。さらに、それらを英訳し、“Telemedicine in Japan”として公開した。

II 学会組織の運営

1. 幹事会員選挙及び役員改選

以下の手順で幹事会員選挙及び役員の改選を実施した。

1) 選挙対象および定員

幹事会員 7名 (会員による選出)

3名 (理事会指名)

※ 平成25年3月31日現在の会費納入済み正会員数は、324名

定款第6条により、幹事会員数は20人とします。

※ 任期 4年間 (～平成28年度定時総会まで)

2) 有権者基準日

本選挙の有権者は、平成25年3月31日現在の日本遠隔医療学会会員名簿に記載され、かつ平成24年度分正会員会費納入済みの会員とします。

3) 日程

(1) 選挙の告示 (要綱・会員名簿発送、ホームページ掲載)

平成25年4月1日 (月)

(2) 候補者推薦および立候補受付

平成25年4月3日 (水) ～17日 (水)

(3) 候補者公示 (HP掲載)

平成25年4月19日 (金)

- (4) 投票用紙発送 平成 25 年 4 月 24 日 (水)
- (5) 投票 平成 25 年 4 月 25 日 (木) ～5 月 7 日 (火)
- (6) 開票 平成 25 年 5 月 7 日 (火)
- (7) 当選通知 (メール) 平成 25 年 5 月 10 日 (金)
- (8) 就任辞退/承諾 (FAX・メール) 平成 25 年 5 月 10 日 (金) ～20 日 (月)
- (9) 会員選出幹事会員確定 平成 25 年 5 月 20 日 (月)
- (10) 理事会指名幹事会員決定 平成 25 年 5 月 20 日 (月) ～27 日 (月)
- (11) 新理事会・定時社員総会・運営委員会 平成 25 年 6 月 29 日 (土) ～30 日 (日)
- 4) 候補者の推薦および立候補受付 平成 25 年 4 月 3 日 (水) ～17 日 (水)
 - (1) 立候補 正会員本人が立候補届を提出
 - (2) 推薦 3 名以上の正会員から推薦があった場合に候補となる。
- 5) 投票 平成 25 年 4 月 25 日 (木) ～5 月 7 日 (火)
 - (1) 投票は、所定の投票用紙を用いて、郵便投票とし無記名方式で実施。
 - (2) 投票用紙には 3 名の候補者名を記入。投票の秘密を守るため、二重封筒方式で実施。
- 6) 開票および当選者の決定 平成 25 年 5 月 7 日 (火)
 - (1) 開票は 2 名以上の正会員の立会のもとで実施。
 - (2) 立会人は理事会が選任。 鈴木亮二、黛勇氣、堀込由紀
 - (3) 当選者はそれぞれ得票の多い順に 7 人を決定。
 - (4) 得票数が同数の場合には、抽籤で決定する。
 - (5) 選挙結果は理事会に報告するとともに、当選者に通知します。(電子メール)
- 7) 就任承諾 平成 25 年 5 月 10 日 (金) ～20 日 (月)
 - (1) 当選した会員は、役員就任承諾書/辞退書を提出。
 - (2) 所定期間内に就任承諾書が提出されない場合には、就任辞退とみなし、次順位候補が当選。
- 8) 理事会指名代表幹事 平成 25 年 5 月 20 日 (月) ～27 日 (月)
 - 選挙結果を参照し、幹事会員を 3 名理事会が指名。
- 9) 新幹事会員の公表 平成 25 年 5 月 27 日 (月)
 - すべての新幹事会員が決定し、本会ホームページにその名簿を掲載。
- 10) 新理事・代表理事(会長)の選任 平成 25 年 6 月 29 日 (土)
 - (1) 幹事会員は、6 月 29 日 (土) に東京で開催する定時社員総会に出席。
 - (2) その定時社員総会にて、幹事会員の中から理事を選任した。
 - (3) 上記定時社員総会後に開催される、理事会で、代表幹事(会長)および副会長を選任。
 - (4) また、同じ理事会で、運営委員を選任します。
 - (5) 社員総会終了後、理事会名簿および運営委員会名簿をホームページに名簿を掲載。

2. 新運営体制：運営委員・幹事会員・役員名簿

前項の選挙及び手続に伴う新運営体制は以下の通り。

1) 平成 25～26 年度の役員名簿

役職	名前	所属
代表理事・会長	原 量宏	徳島文理大学保健福祉学部臨床工学科
理事・副会長	酒巻 哲夫	高崎市医師会看護専門学校 副校長
専務理事	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
常務理事	長谷川 高志	群馬大学医学部附属病院
理事	新井 桃子	NPO 法人 medical-e.net
理事	郡 隆之	利根中央病院
理事	坂田 信裕	獨協医科大学 基本医学 情報教育部門
理事	本多 正幸	長崎大学医学部医療情報部
理事	森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野
理事	吉田 晃敏	旭川医科大学 学長
監事 (任期 4 年)	吉井 宏文	吉井宏文税理士行政書士事務所

2) 幹事会員名簿

任期	名前	所属
～H26 年度	吉田 晃敏	旭川医科大学 学長
	酒巻 哲夫	群馬大学医学部医療情報部
	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
	原 量宏	徳島文理大学保健福祉学部臨床工学科
	郡 隆之	利根中央病院
	長谷川 高志	群馬大学医学部附属病院
	太田 隆正	太田病院
	十蔵寺 寛	東海大学医学部救命救急医学中島研究室
	横井 英人	香川大学医学部附属病院 医療情報部
	森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野
～H28 年度	鎌田 弘之	盛岡赤十字病院
	廣川 博之	旭川医科大学附属病院経営企画部
	坂庭 一彦	パナソニックヘルスケア株式会社メディコムビジネスユニット
	本多 正幸	長崎大学医学部医療情報部
	新井 桃子	NPO 法人 medical-e.net
	近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院医療情報部
	新田 幸恵	西会津町役場健康福祉課
	坂田 信裕	獨協医科大学 基本医学 情報教育部門
	坂本 明史	沖電気工業株式会社 研究開発センター
	渡辺 みか	東北大学病院病理部

2) 運営委員 (H25～26 年度) は以下のとおりである。

名前	所属
吉田 晃敏	旭川医科大学 学長
酒巻 哲夫	高崎市医師会看護専門学校 副校長
東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
原 量宏	徳島文理大学保健福祉学部臨床工学科・香川大学
郡 隆之	利根中央病院
長谷川 高志	群馬大学医学部附属病院
太田 隆正	太田病院
十蔵寺 寛	東海大学医学部救命救急医学中島研究室
横井 英人	香川大学医学部附属病院 医療情報部
森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野
鎌田 弘之	盛岡赤十字病院
廣川 博之	旭川医科大学附属病院経営企画部
坂庭 一彦	パナソニックヘルスケア株式会社メディコムビジネスユニット
本多 正幸	長崎大学医学部医療情報部
新井 桃子	NPO 法人 medical-e.net
近藤 博史	鳥取大学医学部附属病院医療情報部
新田 幸恵	西会津町役場健康福祉課
坂田 信裕	獨協医科大学 基本医学 情報教育部門
坂本 明史	沖電気工業株式会社 研究開発センター
渡辺 みか	東北大学病院病理部
岡田 宏基	香川大学医学部医学教育学講座教授
辻 正次	兵庫県立大学大学院応用情報科学研究科
石塚 達夫	岐阜市民病院 総合診療・リウマチ膠原病センター
三浦 秀史	禁煙マラソン (日本禁煙科学会)
永井 優子	自治医科大学 (日本ルーラルナーシング学会)
本間 聡起	杏林大学医学部総合医療学
八幡 勝也	住田病院 副院長
柏木 賢治	山梨大学医学部眼科学講座
児玉 直樹	高崎健康福祉大学
亀井 智子	聖路加看護大学
小笠原 敏浩	岩手県立大船渡病院
明松 祐司	公正取引委員会競争政策研究センター
土橋 康成	(財)ルイ・パストゥール医学研究センター 臨床病理研究部 (日本テレパソロジー・バーチャルマイクロスコープ研究会)
鈴木 亮二	群馬大学医学部附属病院 医療情報部

2. 総会の開催

総会は以下のとおり開催した。

平成 25 年度定時総会 平成 25 年 6 月 29 日（土） 東京都

3. 理事会の開催

理事会は以下のとおり開催した。

- 第 1 回理事会 期間：平成 25 年 5 月 10 日～17 日 17:00
方法：電子メールによる審議、FAX による回答。
議題：理事会指名幹事会員及び同補欠の指名
- 第 2 回理事会 期間：平成 25 年 5 月 29 日～31 日
方法：電子メールによる審議、FAX による回答。
議題：運営委員の指名。
- 第 3 回理事会 期間：平成 24 年 6 月 13 日（木）～6 月 19 日（水）正午
方法：電子メールによる討議
議題：平成 25 年度総会議案書の審議。
- 第 4 回理事会 日時：平成 24 年 6 月 29 日（土）15：30～15：45
場所：東京都千代田区神田淡路町 2-9 お茶の水・ホテルジュラク 白鳥の間
議題：理事の改選に伴う会長、副会長、専務理事および常務理事の選定。

4. 運営委員会の開催

運営委員会は以下のとおり開催した。

- 第 1 回運営委員会 日時：平成 25 年 6 月 29 日
場所：東京都千代田区 お茶の水・ホテルジュラク
議題：総会報告、新運営体制、学術大会準備状況、H26 年度活動計画審議等
- 第 2 回運営委員会 日時：平成 25 年 10 月 19 日
場所：高松市サンポートホール高松
議題：学術大会実施状況、優秀論文選定、SC2014、学術大会準備状況等
- 第 3 回運営委員会 日時：12 月 7 日(土)
場所：東京都千代田区 お茶の水・ホテルジュラク
議題：JTТА2013 実施報告、JTТА2014 準備状況、2016 年以降の学術大会、SC2014、投稿規定の改定等
- 第 4 回運営委員会 日時：平成 26 年 2 月 22 日
場所：東京都文京区 全国家電会館
議題：SC2014 実施状況、SC2014, 2015 準備状況、JTТА2015 以降の大会長開催地、国際交流委員会設置等

5. 会員の状況

(1) 平成 26 年 3 月 31 日現在会員数

正会員 388 人 (20 人の幹事会員を含む。うち、会費納入は 326 人)

学生会員 12 人 (うち、会費納入は 8 人)

賛助会員 15 社 (51 口)

(2) 平成 25 年度新規入会者 50 人

(3) 平成 25 年度退会者 36 人

6. ホームページの運用

日本語及び英語のホームページを運用した。

日本語ページ URL <http://jtta.umin.jp/index.php>

英語ページ URL <http://jtta.umin.jp/eng/index.php>

なお、平成 25 年 4 月から平成 26 年 3 月まで (1 年間) のお知らせ掲載数は、以下のとおりであった。

日本語ページ 35 編

英語ページ 7 編

このほか、第 18 回国際遠隔医療学会のホームページを英文にて作成し、運用した。

第 2 号議案 平成 25 年度（第 3 期）決算報告

1. 平成 24 年度収支および棚卸資産の概要

(1) 収支の概要（別紙、資料 2-1 H25 予算決算参照）

	予算	決算
前期末繰越金	1,923 千円	1,923 千円
当期事業収入	5,711 千円	5,317 千円
当期事業支出	6,057 千円	6,045 千円
当期事業収支	△347 千円	△728 千円
当期末繰越金	1,548 千円	1,203 千円

(2) 棚卸資産の概要

増加要因	学会雑誌 9 巻 1, 2 号、国際学会抄録集、SC2014 抄録集
廃棄	学会雑誌 4 巻を棚卸資産から除却

2. 収支報告、監査報告

(1) 平成 25 年度財産目録（別紙、資料 2-2 H25 決算書 財産目録参照）

(2) 平成 25 年度収支報告書（別紙、資料 2-2 H25 決算書 収支報告書参照）

(3) 監査報告書（別紙、資料 2-3 H25 監査報告書参照）

第3号議案 平成26年度(第4期)活動計画

1. 学術活動

(1) 学会雑誌発行

日本遠隔医療学会雑誌 10巻1号 平成26年6月発行 500部程度

日本遠隔医療学会雑誌 10巻2号 平成26年10月発行 650部程度

(2) 学術集会開催

第18回日本遠隔医療学会学術大会 (JTTA2014)

大会長 本多 正幸 (長崎大学)

プログラム委員長 近藤 博史 (鳥取大学)

総務委員長 八幡 勝也 (住田病院)

実行委員長 松本 武浩 (長崎大学)

幹事長 中島 直樹 (九州大学)

開催日 平成26年10月25日(土)、26日(日)

会場 長崎県長崎市 長崎大学医学部 (良順会館、ポンペ会館他)

第34回医療情報学連合大会における共同企画

開催日 平成26年11月6日(木)～8日(土)

会場 千葉市 幕張メッセ

担当 横井英人・長谷川高志・本多正幸

JTTA Spring Conference 2015

開催日 平成27年2月20日(金)、21日(土)

会場 東京都文京区 全国家電会館

2. 組織および会員

(1) 幹事会員選挙準備

平成27年は幹事会員の半数を改選する選挙を実施する年であり、その準備を進める。

選挙の日程(案)は以下のとおり。

選挙の告示 平成27年4月1日(水)

候補者推薦および立候補受付 平成27年4月3日(金)～17日(金)

候補者公示(HP掲載) 平成27年4月20日(月)

投票用紙発送 平成27年4月24日(金)

投票 平成27年4月27日(月)～5月7日(木)

開票 平成27年5月7日(木)

当選通知(メール) 平成27年5月8日(金)

就任辞退/承諾(FAX・メール) 平成27年5月9日(土)～15日(金)

会員選出幹事会員確定 平成27年5月18日(月)

理事会指名幹事会員決定 平成27年5月19日(火)～26日(火)

改選対象の幹事会員名簿は以下のとおりである。

(任期別・会員番号順)

任期	氏名	所属
～H26	吉田 晃敏	旭川医科大学 学長
	酒巻 哲夫	群馬大学医学部医療情報部
	東福寺 幾夫	高崎健康福祉大学健康福祉学部医療情報学科
	原 量宏	徳島文理大学保健福祉学部臨床工学科
	郡 隆之	利根中央病院
	長谷川 高志	群馬大学医学部附属病院
	太田 隆正	太田病院
	十蔵寺 寛	東海大学医学部救命救急医学中島研究室
	横井 英人	香川大学医学部附属病院 医療情報部
	森田 浩之	岐阜大学大学院医学系研究科総合病態内科学分野

(2) 会員

会員の新規入会を促進し、会費の確実な収納を図る。

(3) 運営委員会メンバーの見直し

運営委員会メンバーに以下の委員会代表者(委員長)を加える。

- (1) 編集委員会
- (2) 普及委員会
- (3) 国際交流委員会

このため、運営委員会規則を改定する。(別紙、資料3-1)

3. 運営

(1) 総会

定時総会 平成 26 年 6 月 28 日（土）・東京

(2) 理事会

第 1 回理事会（定時） 平成 26 年 6 月 28 日・東京

第 2 回理事会（定時） 平成 26 年 10 月 24 日（金）、25 日（土）または 26 日（日）・長崎

第 3 回理事会（定時） 平成 27 年 2 月 20 日（金）または 21（土）・東京

(3) 運営委員会

第 1 回運営委員会 平成 26 年 6 月 28 日（土）・東京

第 2 回運営委員会 平成 26 年 10 月 25 日（土）または 26 日（日）・長崎

第 3 回運営委員会（研修会） 平成 26 年 12 月 6 日（土）・東京

第 4 回運営委員会 平成 27 年 2 月 20 日（金）または 21 日（土）・東京

(4) 財務・会計

・健全な財務状況を維持する。

4. 分科会

分科会活動状況を把握・支援し、活性化に努める。

5. 国際活動

(1) 国際交流委員会

- ・国際交流委員会規則を定め、その目的や位置づけを明確化する。
- ・国際交流委員会を中心として、海外関連団体との交流を推進する。

(2) 人的関係の強化

・昨年の国際学会（The 18th ISfTeH International Conference in Japan）で得られた海外の研究者・関連団体等との交流を継続し、人的関係をより強固なものとする。

(3) 英文ホームページによる情報発信

・英文ホームページでの情報発信を継続的に実施する。

6. 普及活動

(1) NPO 法人日本遠隔医療協会への協力

・日本遠隔医療協会の活動を支援する。

(2) ホームページの充実

・ホームページにタイムリーに記事を掲載し、情報発信を行う。

(3) Telemedicine in Japan の改訂

・昨年度作成した“図説日本の遠隔医療”（日本語）及び”Telemedicine in Japan “（英語）を必要に応じ改訂する。

第 4 号議案 平成 26 年度（第 4 期）予算

1. 平成 26 年度予算案

別紙、資料 4 - 1 平成 26 年度予算案 参照

以上。